

令和4年3月

船橋市立丸山小学校
校長 森 由美子

令和3年度・学校評価保護者アンケート結果について

1. 回答数

273世帯中、253名分の回答がありました。

2. 結果の分析

(1) 集計結果の分析

A:十分できている (十分している)	B:おおむねできている (おおむねしている)	C:あまりできていない (あまりしていない)
D:全くできていない (全くしていない)	E:わからない (判断できない)	

評価は、「経営」「学習」「生活」「健康安全」「連携」「教育相談」の6つのカテゴリで実施し、質問は19項目としました。集計結果では、19項目中15項目が80%以上の方にB以上の評価をいただき、また、そのうち4項目が90%以上の方にB以上の評価をいただきました。全体的には概ね良好ですが、子供たちに直接関係する「学習」の項目については、C・Dと評価する回答の出現率が、他のカテゴリの項目より高くなっており、今後の改善と対策が必要です。また、「経営」の項目の中の週プログラムに関する回答では、今年度の後半より週プログラムの試行的廃止をしたことに伴って評価が分かれており、次年度の方向性を検討する必要があります。

「学習」に関しては、設問5「子供たちは、学習の基礎が身についていますか。」でA評価が17%、設問6「学校は、一人一人の子供に応じた指導に努めていますか。」でA評価が21%となっています。基礎基本の定着、学力向上に向けた取り組み、従来型の指導方法からの脱却、子供たちの主体的な活動の重視、個に応じた指導の充実等は、教育活動において重要です。今後、学力向上校内委員会を設置して、子供たちの学力向上に向け、指導内容の充実、指導方法の工夫を進めていきたいと思えます。

「連携」という点では、今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策により、学校、保護者及び地域が協力する行事や活動の中止・縮小・制限等が相次いだことで、評価が

分かれており、引き続き影響が出ていることを伺うことができます。しかし、このコロナ禍で学校行事の変更や学校生活の中での制限により、子供たちが多くの我慢を強いられている状況であっても、設問7「子供は、楽しく学校に通っていますか。」では、95%の方にB以上の評価をいただくことができ、大変嬉しく思います。

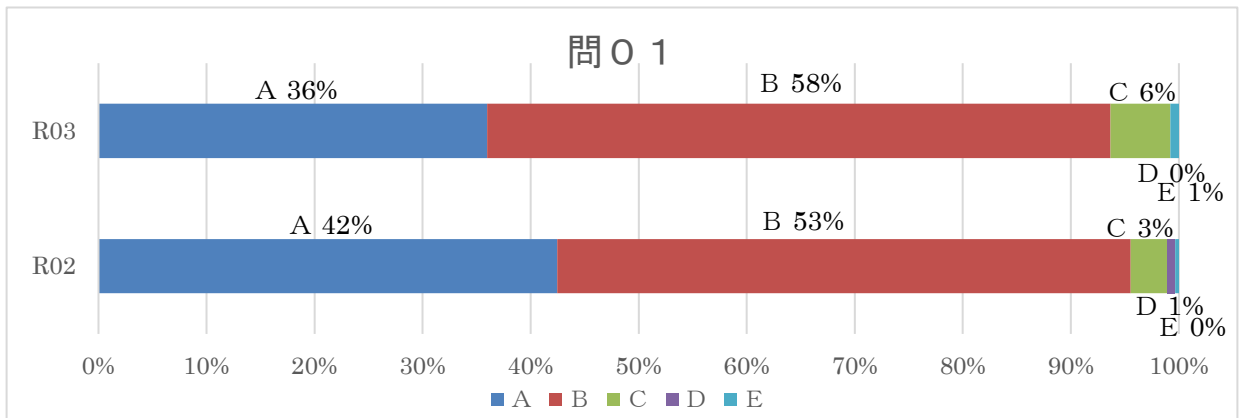
いじめに関する設問16・17では、具体的な事案・対応等については、本人の特定に繋がることも考えられ、全体に知らせることが困難な面もあり、結果として「わからない」とするE評価が30%前後になっています。今後も生徒指導部会を中心に全職員で、いじめのない学校づくりを更に進めていきたいと思えます。

スクールカウンセラーに関しては、毎月、「相談室だより」を発行したり、学校だよりのお知らせ欄に掲載したりすることで、電話相談や面談の件数も増えています。子供に関する悩み、親としての悩み、子育ての悩み等、内容も様々です。今後も引き続き学校だよりでのお知らせ等、周知に努めていきます。

(2) 設問ごとの推移

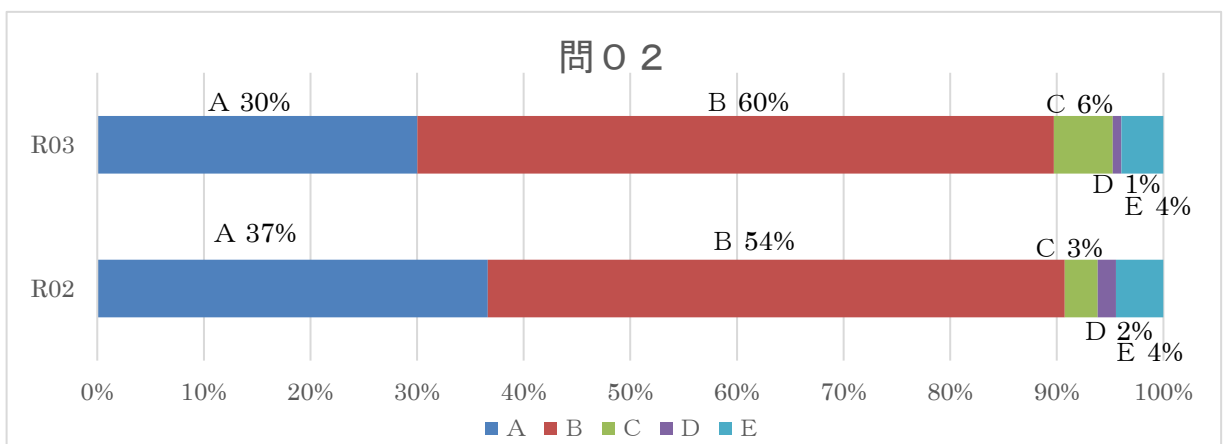
A:十分できている (十分している)	B:おおむねできている (おおむねしている)	C:あまりできていない (あまりしていない)
D:全くできていない (全くしていない)	E:わからない (判断できない)	

Q1 学校は、学校だより・学年だよりやその他のたよりをとおして、教育方針や教育活動をわかりやすく伝えていきますか。



■■■新型コロナウイルス感染症予防対策に関わることでのお願いや変更等、保護者の皆様には、ご迷惑をお掛けし、大変申し訳なく思っています。学校生活の情報発信源として配布しています「各種たより」については、情報を正確に伝えるよう内容の充実に努めていきます。また、早めに情報を提供する手段として学校メールや学校ホームページについても効果的な活用に努めていきます。

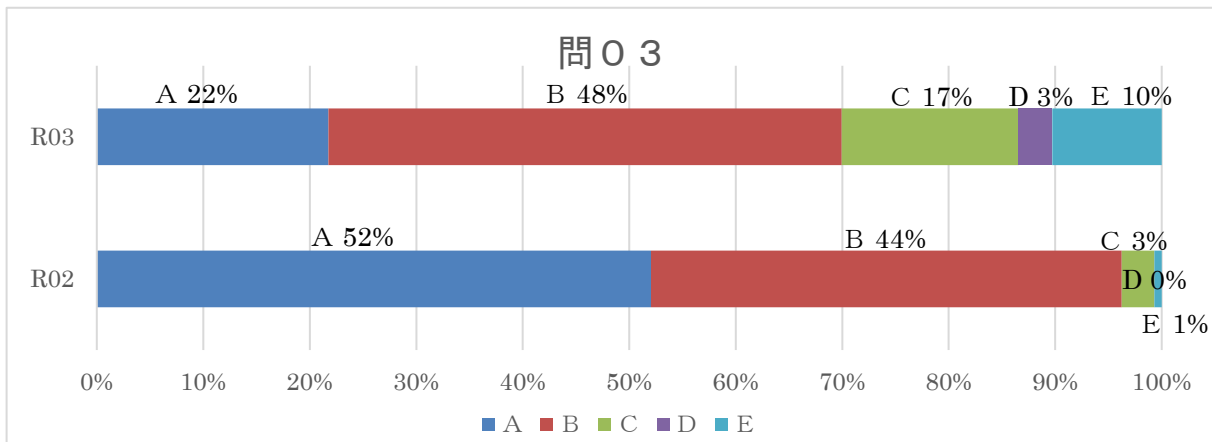
Q2 学校は保護者や地域の方々を受け入れやすく対応していますか。



■■■本校は、教職員数が少なく、児童数も周辺の近隣校に比べ半数以下の小規模校です。今後も児童数の減少傾向が進むと予測されています。教育活動につきましては、保護者の皆様や地域の方々にご協力をいただいておりますが、コロナ禍、例年通りにはいかない部分も多々ありました。90%の方から肯定的評価をいただいたことは、大変ありがたく思います。地域とともに歩む丸山

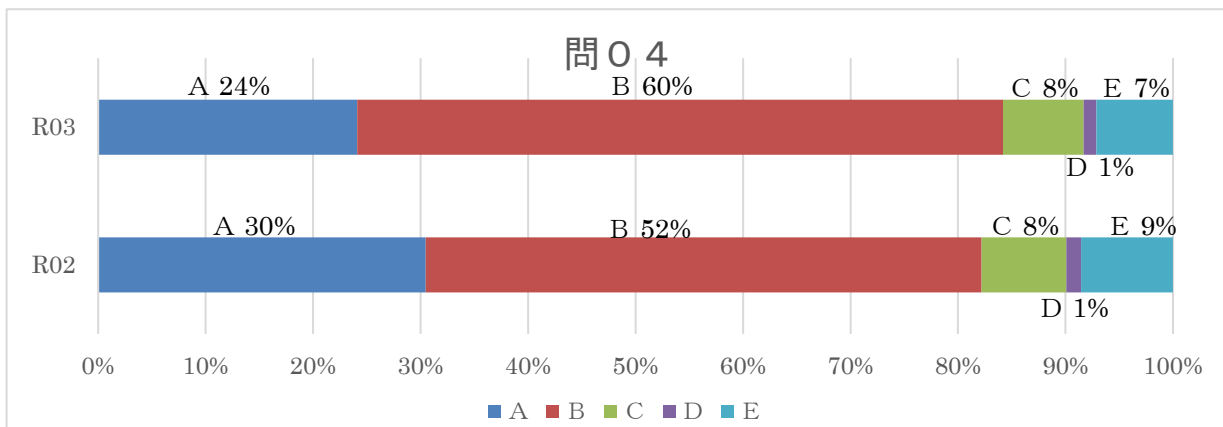
小であるために、保護者の皆様、地域の方々のご意見・ご提案等については、校内で十分検討し、学校運営及び子供たちの教育活動に生かしていくよう努めます。

Q3 学校は週プログラムをとおして子供の学習の進捗や内容を事前に伝える努力をしていますか。



■■■今年度の後半から週プログラムを試行的廃止としました。固定日課表の活用と連絡帳の活用により、偏りのない教科指導と学校での生活リズムの安定化、子供たちが連絡事項を自分で連絡帳に書くことの習慣化に取り組んでいます。毎日、連絡帳に丁寧な文字で既習漢字を使って正確に連絡事項を記入することは大切なことです。明日の日課はどうなのか、持ち物は何か、宿題は何か、配布物は何枚か等、子供たち自身が確認する意味でも連絡帳の活用は、習慣化が必要と考えます。週プログラムはなくても連絡帳で大丈夫とのご意見、また、週プログラムがなく学習内容や学習進捗がよくわからない、持ち物がよくわからないとのご意見もありますが、家庭でのお子様との会話を通して、学校生活、学習内容等について、ご理解をいただくとありがたく思います。

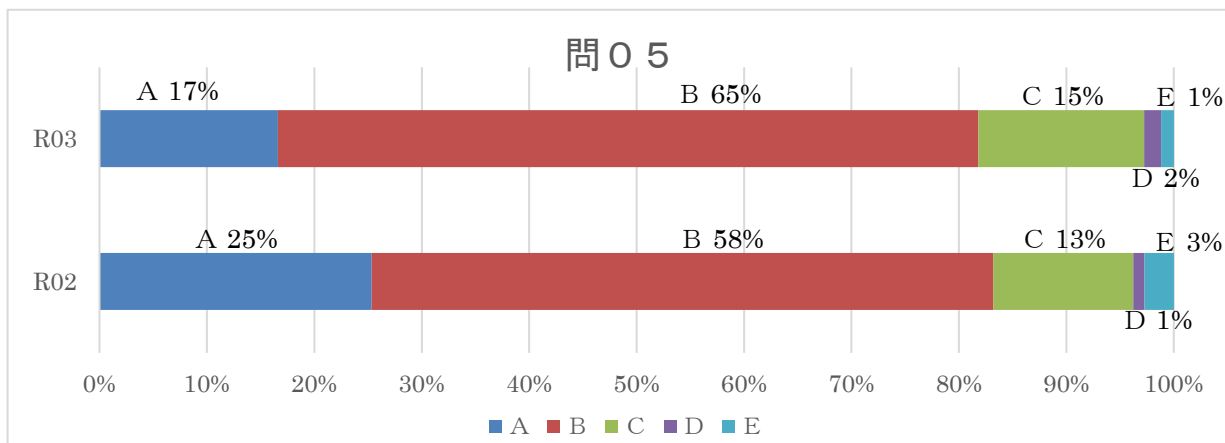
Q4 学校はドリル学習・読書タイムなどを取り入れ日課時刻を工夫して、子供たちの学力向上に努めていますか。



■■■朝の15分学習の時間帯の学習内容・学習活動を年間指導計画に位置づけ、国語と算数について学習内容の定着に取り組みました。ドリル学習は、漢字・計算ドリルをくりかえし活用し、基

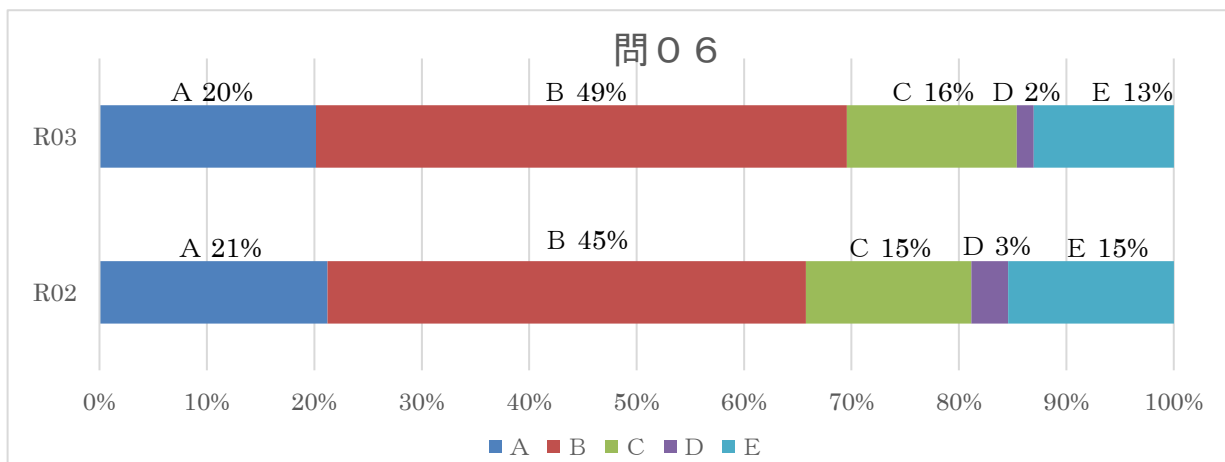
基礎基本の定着を図り、理解を深めることが大切です。ドリル学習を通して子供たち個々のつまづきを把握し、個別指導にも役立てました。今後は、活用方法の工夫や評価方法の改善を図り、子供たちが意欲的に取り組むように進めていき、基礎基本の定着から学力向上へと繋がるよう努めます。

05 子供たちは、学習の基礎（読み、書き、聞く、計算、話す等）が身についていますか。



■■■新型コロナウイルス感染症予防対策として、授業での「読むこと」「話すこと」は制限がありました。音読や群読のような声を一斉に出す活動、交流活動や発表会等の集団やグループでの活動は、思うようにできない期間がありましたが、可能な範囲で取り組みました。「書くこと」「聞くこと」「計算」については、授業の中でも取り組むことが増えました。コロナ禍の状況を考慮して、子供たちの学びの機会の保障に心がけてきました。今年度の特徴としては、GIGAスクール構想が急速に進んだことで、学習のふりかえりや学習の繰り返しの時間に児童用端末の活用が充実してきたことが挙げられます。

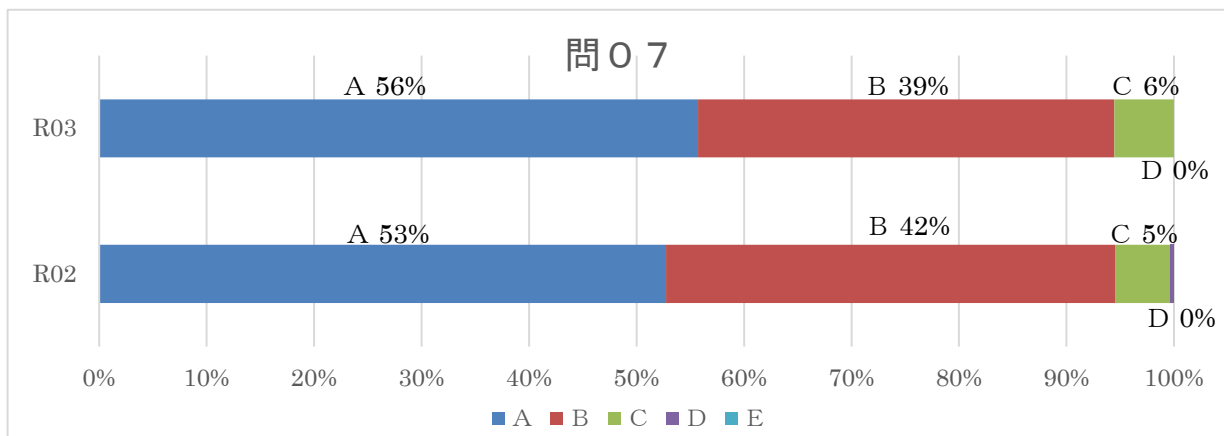
06 学校は、一人一人の子供に応じた指導に努めていますか。



■■■学習面における児童理解に努め、一斉指導中心ではなく、個に応じた適切な指導を心がけ、一人一人のよさを伸ばしたり、学習内容の理解の習熟を図ったりする取り組みが多く見られました。

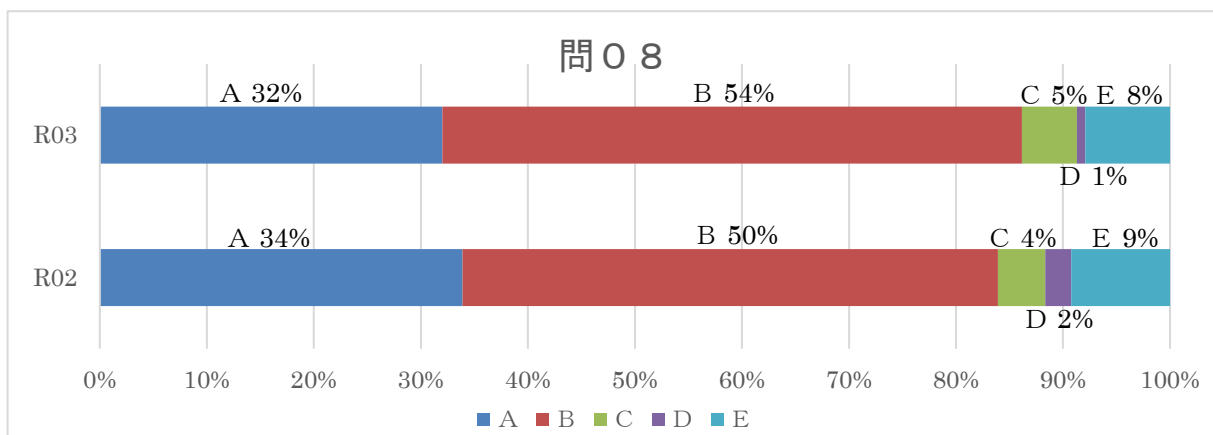
課題や宿題の取り組み方について、保護者の方にご協力をお願いする場合があります。その際は、面談や連絡の機会を得て、学校と家庭とで情報を互いに共有し、子供にとって適切な指導内容・方法等を協議し、取り組むよう努めます。

07 子供は、楽しく学校に通っていますか。



■■■コロナ禍、子供たちは、学校生活で様々な我慢を強いられてきました。子供たちは日常的にストレスを抱えていたことと思います。その状況でも、95%の方から肯定的評価をいただきました。本校の先生は、休み時間に校庭で子供たちと遊んだり、教室で話をしたりして過ごす先生が多くいます。子供たちが楽しく学校に通える要素は、「友達との関係」「教師との関係」「親との関係」「学習との関係」が挙げられます。これらが充実していると、毎日が楽しいと感じます。児童理解をさらに深め、子供たち一人一人の個性を尊重し、居場所のある学校・学級経営を心がけ、すべての子供たちが楽しいと思えるよう、今後も改善に努めます。

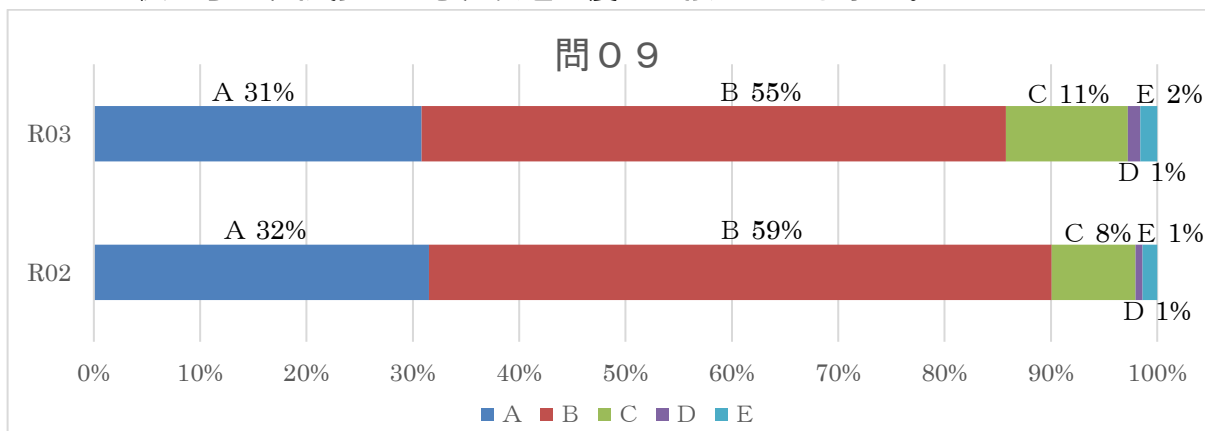
08 学校は、豊かな心の育成に取り組んでいますか。



■■■授業では、道徳教育の充実に取り組んでいます。豊かな心の育成は、他者との関わりが重要となります。週1回の道徳の授業では、子供たちが主体的に取り組むよう授業形態を工夫し、自他の思いや考え方を共有する場面を増やしています。また、「ふりかえり」の時間を大切に扱い、考

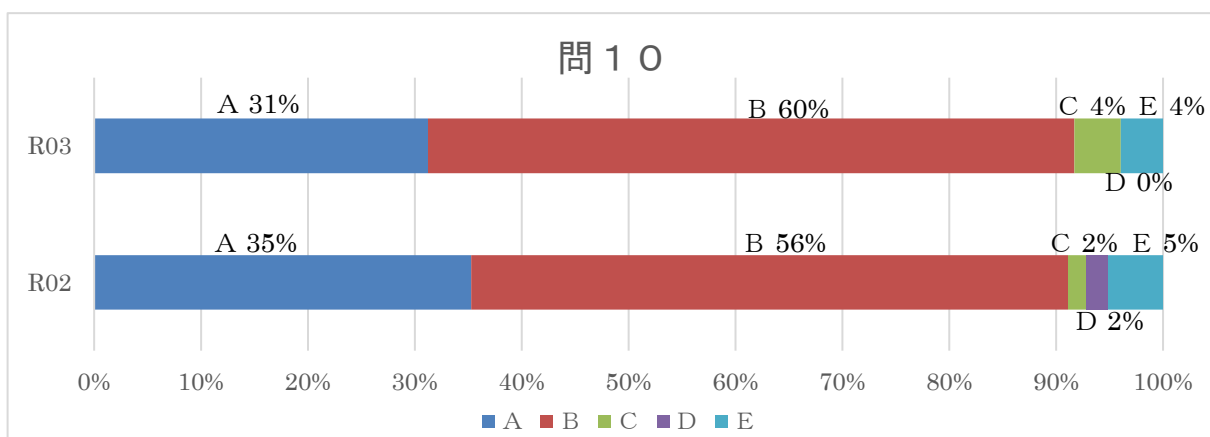
えたことや思ったこと、感じたこと等が、日々の生活で実践できるよう指導しています。わんぱく活動、委員会活動、学校行事、学年行事を通じて、豊かな心の育成に取り組んでいます。子供たちの心の繋がりを深めることができるわんぱく活動が充実したものになるよう努めます。

09 子供たちは、挨拶ができ、友達に優しく接していますか。



■■■子供たちは、校内ではよく挨拶ができています。しかし、地域では挨拶ができていないというご意見もあります。登下校時の見守りの方、スクールガードの方に対して、感謝の気持ちを大切にすること、また、子供たち自身も地域社会の一員としてルールやマナーを守ること等、都度、学級で話題にしていきます。お世話になっている方々にも積極的に挨拶ができるように、また、相手のことを考えた言葉遣いや行動、態度についても各学年の発達段階に応じた指導に努めます。

10 学校は、健康な子供の育成に努めていますか。

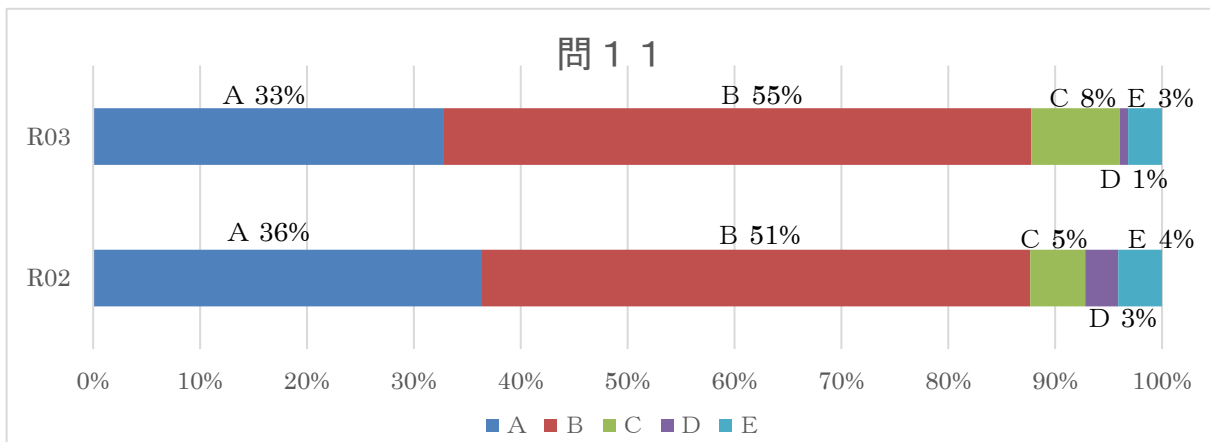


■■■体育の授業は、運動種目や授業形態に一時期制限があり、運動面において体力向上という点では、課題があったと考えます。その状況でも、各学年学級で内容を工夫し、できることに対して、楽しく活動ができるように取り組んできたことは、授業改善を考える上でよい機会となりました。陸上大会や相撲大会、駅伝大会等、市民大会がすべて中止となってしまったことは、参加を楽しみにしていた子供たちには、大変残念なことだったと思います。体力向上に向けて、校内の体力向上推進委員会（体育部会）を中心に、年間を通して体力づくりに取り組める方策について計画し、実

践していくよう努めます。

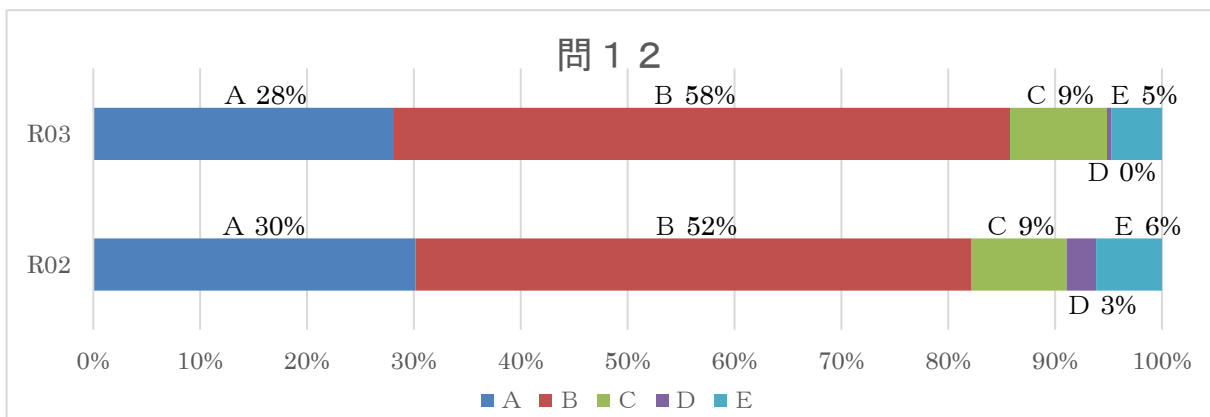
■■■「衛生面」という観点では、感染症予防対策として取り組んでいる「毎朝の検温・健康観察」「うがい・手洗いの徹底」「手指の消毒」「マスク着用」「換気」等は、子供たち自身、習慣となっています。また、マナーやエチケットの理解も深まりました。子供たちは健康でいることの大切さを実感しています。

1 1 学校は交通安全や不審者対応などに努めていますか。



■■■放課後の子供たちの様子について、様々な情報をご提供いただきました。保護者の方、スクールガードの方等、地域の皆様のご協力に感謝しています。公園での遊び方、一般道路での危険行為や迷惑行為、私有地（駐車場）への無断立ち入り、自転車の乗り方等、ご迷惑をお掛けして、大変申し訳ありません。学校としても交通安全指導や下校後の生活指導、不審者対応等について、都度、指導に努めています。今後も情報をご提供いただいた際には、早急に対応し指導していくことを心がけます。安全安心面では、学校メール配信を活用し、正確な情報発信に努めます。

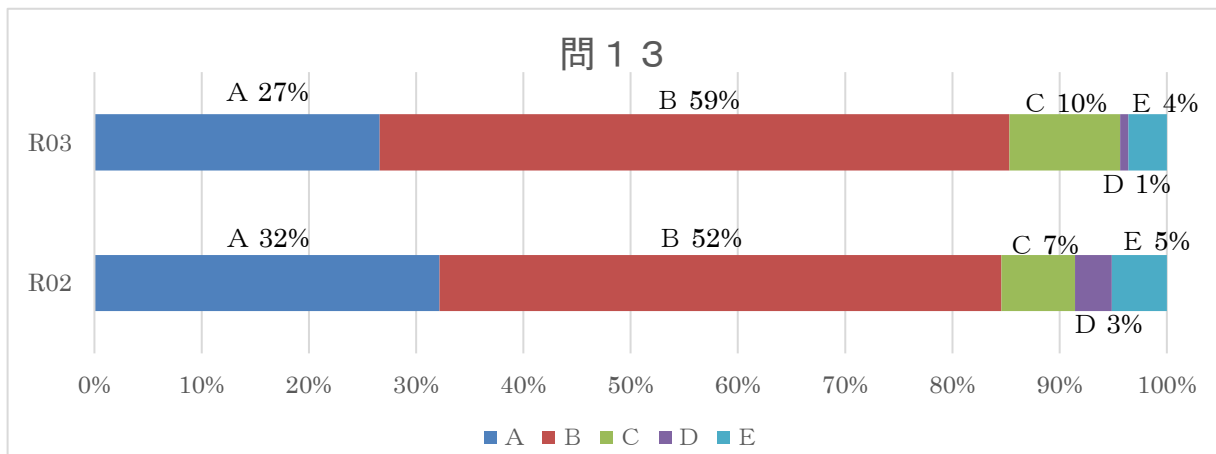
1 2 学校は、教育環境が整備されていますか。



■■■学校としては、校舎の老朽化は否めませんが、教育環境が改善されるよう施設修繕・環境整備を重ねています。今年度は、1階教室に網戸の設置、西階段の塗装、東階段滑り止めビス打ち、5階廊下LED照明化、高木化樹木の剪定、老朽化登り棒撤去、校庭側斜面の土留め、職員トイレ

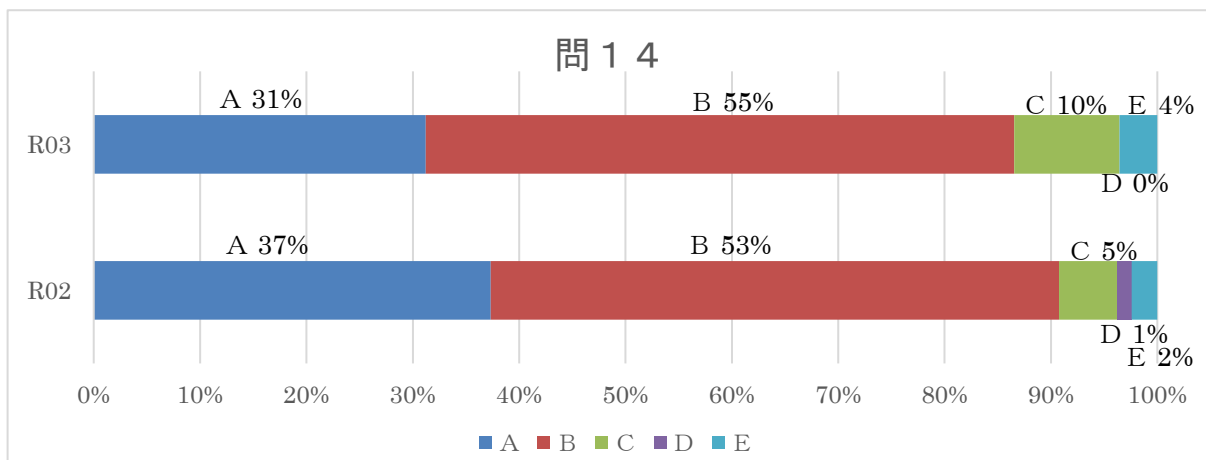
改修、校舎内全階トイレ特殊清掃、新救助袋設置、昇降式黒板設置等を行いました。今後も引き続き教育環境の改善に努めます。尚、今後は、2階パソコン室が会議室へ、会議室が災害時用備蓄倉庫へ転用となる予定です。また、体育館トイレが令和4年度に全面改修となります。

1 3 学校は保護者や地域と連絡・連携をとっていますか。



■■■学区巡回、学級懇談会、個人面談の場の設定、電話や連絡帳による連絡・報告、また、個別対応の面談による相談・連携に取り組んでいますが、今年度は、感染症の感染予防対策により、例年通りには実施できなかつたり、PTA活動や丸山地域での交流イベント、公民館イベントも中止となつたりと、保護者や地域の方々との連絡・連携という点では、寂しく感じました。このような状況の中、元旦の「初日の出を見る会」では、多くの方々が丸山小に来てくださいました。また、地域の安全安心について、丸山町会様との話し合いができたことは、今後の地域と学校との連携を考えると貴重な時間となりました。今後は、きめ細かい連絡・連携を心がけ、情報の共有が確実にできるよう努めます。

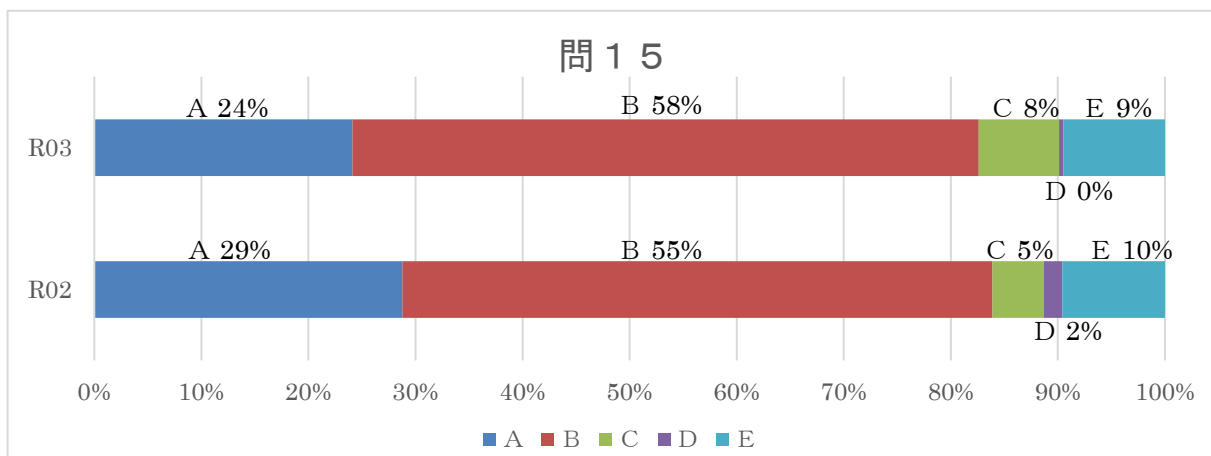
1 4 学校は授業や行事を参観する機会を積極的に設けていますか。



■■■感染症予防対策を講じた上での教育活動の実施であったため、年間行事予定を度々変更することとなりました。特に9月・10月の予定を11月・12月に変更したことで、学校行事が過密

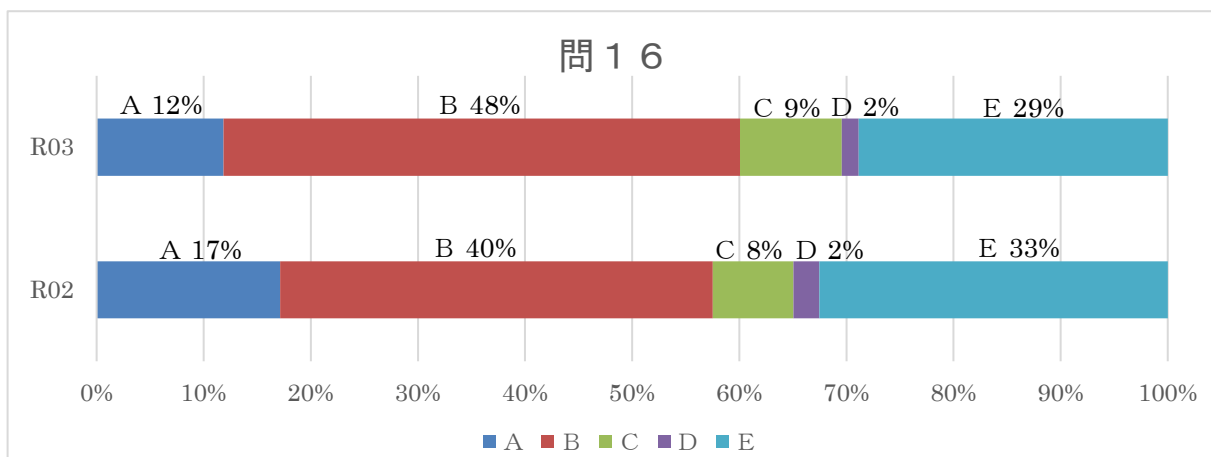
状態となりました。また、コロナ禍の感染予防対策の長期化により、保護者の皆様が参観できる学校行事等の規模や内容が変更となり、子供たちの学校での様子を公開する機会が減りました。少ない参観機会となりましたが、ご来校、ご参観くださいました保護者の皆様に感謝申し上げます。

15 学校は保護者や地域の方々と協力して教育活動に取り組んでいますか。



■■■丸山たすけあいの会の皆様には、月1回、校舎周辺やわんぱく山周辺の除草作業・清掃作業をしていただき、感謝しております。普段の清掃活動では、なかなか手が回らない部分でもありますので、大変助かっています。例年、父母と教師の会、丸山町会、げんき会の皆様には、本校の教育活動に多くのご協力をいただいておりますが、今年度は、学校行事や地域行事、公民館行事等が、中止や縮小が相次ぎ、通常の協力体制を維持することが困難な状況となり、取り組みも滞る結果となりました。次年度は学校としましても、地域のために貢献できるような教育活動を検討し、地域コミュニティーが、充実するよう努めていきます。

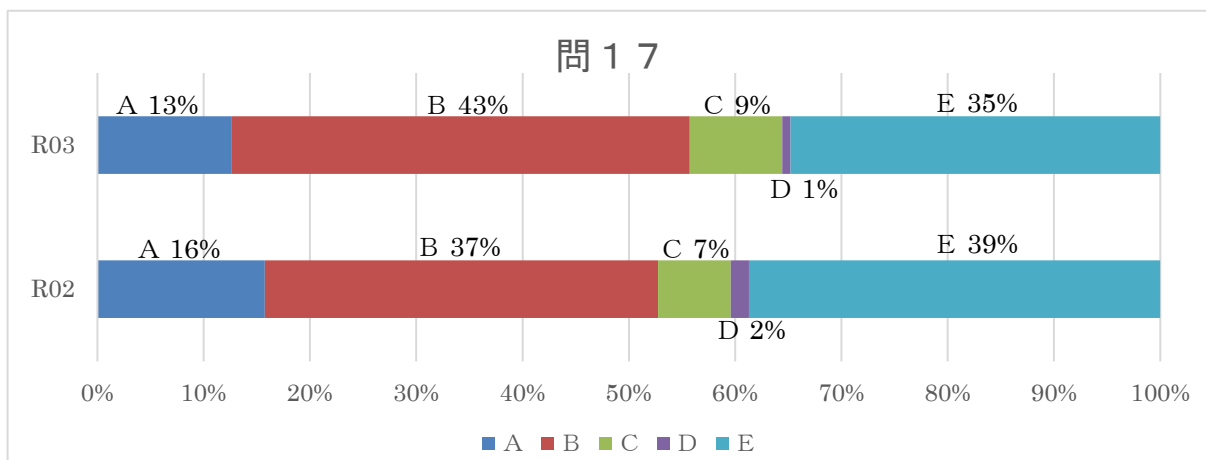
16 学校は、いじめの早期発見・未然防止に取り組んでいますか。



■■■毎月1回、生徒指導部会を実施して、各学年の子供たちの状況・様子等についての共通理解や把握をし、対応や対策について協議をしています。月1回の職員会議の際に、生徒指導部会からの報告を受け、全教職員で情報の共有、共通認識をしています。さらに週1回の職員打合せの際に

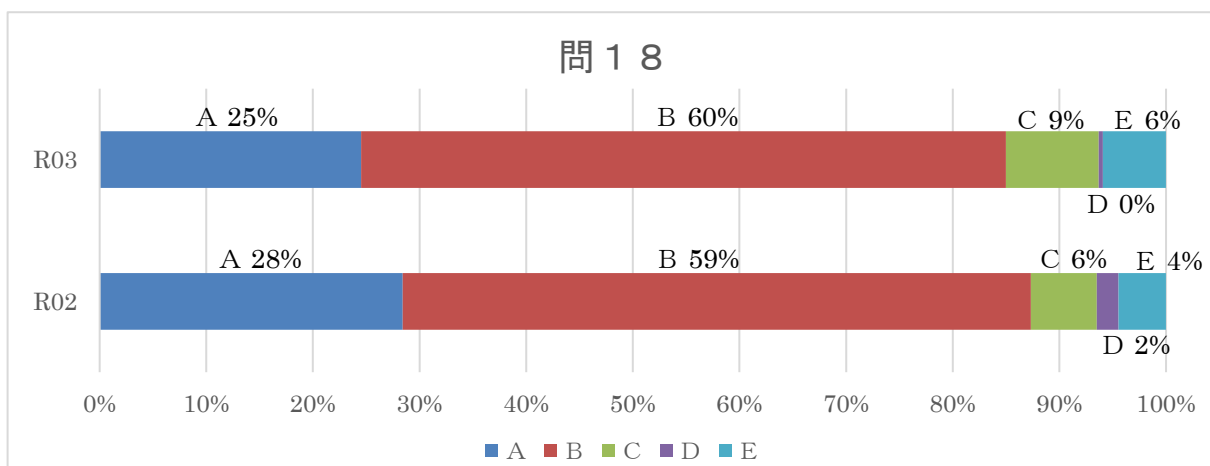
も、経過報告や新たな情報共有に努めています。いじめに関するアンケート調査は、年3回、実施し取りまとめをしています。子供たちからの悩みがある場合には、早急な対応を心がけています。保護者の方や子供たちからの情報は、いじめの早期発見に繋がる重要なものとなります。気になることがございましたら、ご連絡をお願いします。

17 学校は、いじめの再発防止に取り組んでいますか。



■■■友達関係や学級内での対人関係、異学年間での対人関係等のトラブルが次第に悪化し、子供たちだけでは解決できずに問題化するケースが発生しています。その際の対応としては、関係者双方の事情を把握し、偏りのない解決策を講じるよう努めています。保護者の方にも情報を早めに提供し、共有していただくことで、再発防止の効果が見られます。今後もいじめが起こった際は、全職員で情報を共有するとともに迅速に対応し、早期解決に誠意を持ってあたり、再発防止に取り組みます。

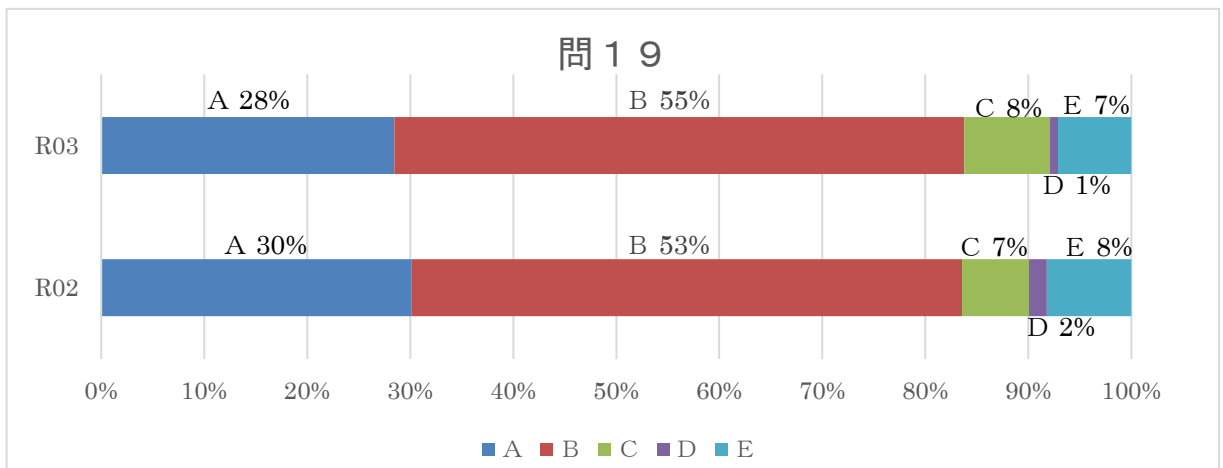
18 学校は、スクールカウンセラーとの相談について、わかりやすく説明していますか。



■■■月1回発行の「相談室だより」・「学校だより」を通じて、スクールカウンセラーとの相談についてお知らせしています。スクールカウンセラーとの電話相談や直接面談の件数は増加していま

す。一度、対応した後も経過報告や継続相談等で、スクールカウンセラーとの関わりは続きます。子供本人との面談や相談、保護者との面談、親子同席での面談等、スクールカウンセラーとの面談については、状況を考慮し対応します。お子様に関すること、学校・学年・学級に関すること、保護者自身に関すること、家庭教育に関すること、子育てに関すること等、気になることや困ったことがある場合は、スクールカウンセラーとの面談を希望していただきたく思います。

19 学校は、スクールカウンセラーが配置され、悩みごとや困ったことを相談しやすいよう努めていますか。



■■■スクールカウンセラーの配置については、ご家庭においても学校内においても、より身近な存在となることを学校としても望んでいます。気になるお子様については、スクールカウンセラーが授業観察等を通して、状況を把握し、今後の取り組み方や関わり方等について、保護者の方と一緒に考えていきます。学校外の関係機関についても連絡調整が可能です。今年度、就学時健康診断の際に、本校のスクールカウンセラーが子育て講演会を実施しました。今後もスクールカウンセラーに相談しやすい環境を整備していきます。

3. まとめ

全体として概ね良好の評価（A・B評価）をいただきました。学校運営・教育活動では、新型コロナウイルス感染症に関する影響もあり、その都度、対策や対応の変更を講じる必要がありました。次年度は、「当たり前の学校生活」を取り戻し、子供たちが安全安心に生活をし、一人一人が主体的に学習に取り組み、そして、個々の学力が向上するように教職員一丸となって努めていきます。

アンケートでは、学習における個別指導の在り方の項目があります。「学習」とは、本来、他人から強制されて行うものではなく、学びがいがあるから行うものです。教師は、子供たちが自然と学びたくなるような環境や状況をプランニングしコーディネートする役目があります。授業は、単に教科書の内容を進めることが目的ではなく、どの子供に対しても学ぶ喜びを与えるためのものです。そのためには、子供の個々の能力に応じた内容の変容や作り変えが、その都度、必要です。子供に合わせることは、「学習するおもしろさの保障」に繋がります。そこで大切なことは、学習内容をシンプルにすることです。誰でもが理解しやすく、そこから個々がステップアップの意識を高め、自分なりに工夫したり付加価値を生んだりすることができます。するとそこには、学習を通じて子供たちの中に「文化的創造の楽しさ」が生まれます。このような取り組みが、「生きる力の育成」となりますが、授業は、日々の充実した授業実践を積み重ねてこそ、その先にある子供たちの学力向上という成果が見えてくると考えます。

新学習指導要領に沿って、本校の教育課程を常に見直し、必要に応じ再構成し、今後もよりよい学校となるよう全教職員が共通理解・共通認識をし、「丸山小・スタンダードプラン」を基本に、学習指導・生活指導等に取り組んでいきます。

【今後の取り組みについて】

- 交通安全・不審者情報・放課後の過ごし方については、迅速な情報提供に努めます。
- 通学路の安全については、保護者や地域の方々に頼るだけでなく、学校としても定期的なパトロール等の対策をしていきます。
- 下校時刻については、お知らせした時刻を守るよう心がけ、学年内で相互確認をしていくようにします。
- 学校行事については、保護者の皆様にご負担、ご迷惑をお掛けしないよう、計画段階から内容を整理し、検討します。また、変更が生じた際には、迅速に対応し、ゆとりをもって確認できるようにします。
- いじめの早期発見・未然防止・再発防止に関しては、生徒指導部会の機能を強化するとともに、全教職員で共通理解、共通行動で取り組むよう努めます。また、保護者の方との情報共有、経過報告等についても連携を深めていくよう努めます。
- 職員研修の内容を充実させ、教職員の質的向上、授業力向上に努め、保護者の皆様や子供たちからの信頼を損ねることのないよう努めます。
- 学力・運動能力共に力を入れて、生きる力を育むよう努めます。
- 学校だより、学年だより等の記載事項については、正確さとわかりやすさに努めます。また、ご協力いただく事項等につきましては、早めにお知らせします。
- 子供たちが、お世話になっている方々に挨拶がしっかりできるよう生徒指導の徹底に努めます。